

日常生活の中で困っていることは…

困っていることに対して 自分たちができることは…

高齢の人・障がいがある人

- ・電車やバスの乗り降り、階段の昇り降りがたいへん。
- ・横断歩道を渡りにくい。
- ・買い物に行くとき、段差が危険。
- ・なかなか外に出づらい。
- ・飲食のときに腕が自由に動かない。食べにくい。
- ・耳が不自由だと大きな声で話してもほとんど聞こえない。



▲膝にサポーターをつけて不自由さを体験。

- ・階段の上り降りや段差のあるところでは手を貸してあげる。
- ・道路を一緒に横断してあげる。
- ・買い物と一緒に歩いて行ってあげる。
- ・一緒に外出に誘う。
- ・食べる物を小さくしたり食べやすくしてあげる。
- ・耳が遠い人には耳元で大きな声で話してあげる。離れたところからの声は周りの人がきいて耳元で伝えてあげる。



▲自分たちができることは…。



▲議長の佐藤晴香さん

同年代の人たち

- ・登下校時にゴミが多く落ちている。
- ・休み時間に遊びの輪に入っていない人がいる。
- ・学校で廊下を走りまわっている人がいる。
- ・携帯電話への依存やLINEなどで友達との人間関係がわるくなってしまふ。
- ・何かを相談できるひとがいない。
- ・「ありがとう」などの思いやりの言葉があまりない。

- ・子ども会や地域の活動でゴミ拾いをする。
- ・みんなを誘って一緒に遊ぶ。
- ・廊下の真ん中に花を飾るなどの工夫をする。
- ・人間関係をよくするには相手の気持ちを考えて行動する。
- ・信頼できるひとや相談相手を作ってコミュニケーションを図る。
- ・「ありがとう」を積極的に言う。

家族の人たち

- ・近くにお店がないので買い物に行くのが遠い。
- ・家族の介護がたいへん。
- ・会話している中で家族にどうしても反抗してしまうので家族は困っているかもしれない。

- ・家の近くまでの移動販売があると便利になる。
- ・家族みんなで介護に協力する。
- ・家族同士であいさつを交わす、家族と一緒にいる時間を作るなど、家族のルールを作ってコミュニケーションを図る。

地域の人たち

- ・冬期間の雪かきがたいへん。
- ・独り暮らしのお年寄りは雪かきができない。
- ・地域の行事へ参加する人が年々減っている。
- ・地域の人たちと話したくても何を話していいのかわからない。
- ・若い人が減少している。
- ・野良猫が多くて困っている。

- ・地域の人のお家の雪かきを手伝う。
- ・ボランティアで雪かきや雪囲いをする。
- ・地域に貢献したいという気持ちを育てる。
- ・地域の人に気づいたらすぐにあいさつを交わすようにする。
- ・若い人が増えるように白鷹町の良さをPRする。
- ・野良猫の引き取り手の募集を地域の回覧版に載せてもらう。